

令和6年度 林業普及週間現地情報 (2/3～2/7)

森林管理課

台湾オガタマノキの収穫伐採

2月6日(木)

令和7年2月6日(木)、八重山農林水産振興センター職員は、株式会社佐藤林業が石垣市から林産物の払下げ許可を受けた台湾オガタマノキ8本の収穫伐採現場を見学した。

台湾オガタマノキはモクレン科モクレン属の常緑高木で、国内では石垣、西表、与那国に分布しており、材質が優れているため建築材や家具材などに利用されてきた有用樹である。

現場は令和2年度の人工造林地内であるため、下層の植栽木を損傷しないよう伐倒方向を決定し、ウインチ付きバックホウにて地引集材を行っていた。台湾オガタマノキは生育数が少ないため、今回、尾根部にある個体は母樹として残し、収穫本数は現地で確認できた個体の半数以下にする等の配慮がされている。

八重山農林水産振興センターでは、台湾オガタマノキの造林を目標に播種や挿し木といった方法にて苗木生産に取り組んでおり、安定した苗木生産技術を習得できるよう引き続き取り組んでいく。



収穫伐採現場



搬出状況



株式会社佐藤林業ヤード



台湾オガタマノキの製品

報告者：八重山農林水産振興センター 金城)